

持続可能で生産性が高い農業の推進

～ 良い土・良い豆・良い飼料 若手と築く、未来の仙美里 ～

十勝農業改良普及センター十勝東北部支所 地域第一係

1 活動対象及び概要

本別町仙美里東地域11戸（畑作専業6戸、畑作園芸1戸、畑作畜産4戸）

2 背景・ねらい

背景

- 戸当たり経営面積増加
- 労働軽減・コスト低減
- 後継者の営農参画
- 農地・施設・機械投資
- 主要畑作物の生産性低迷
- ◎ **小豆の生産性低迷**
- ◎ **草地生産性の低下**
- ◎ **連作・過作傾向**

ねらい

栽培管理技術の見直し
コスト低減


↓

低収要因解明・改善策の提案(R3～R6)
輪作体系の把握(R5～R6)

↓

小豆収量と品質の向上

本別町 仙美里東地域



経営者平均年齢
2005年: 53歳
2024年: 44歳


3 活動の経過

◆◆◆ 小豆の高収量栽培技術の実践 ～活動経過～ ◆◆◆


小豆の低収要因

| 項目 | 考えられる要因 | 対策 |
|------|-------------|--------------------|
| 生産技術 | ダイズシストセンチュウ | 緑肥(クリムゾン) ユキホマシR |
| | キタネグサレセンチュウ | 緑肥(えん麦野生種) (ネマレット) |
| | 根粒菌着床不良 | 根粒菌接種・葉面散布 |
| | 倒伏 | 施肥窒素濃縮密度 見直し |
| | 雑草多発 | 耕起方法 除草体系 見直し |
| 物理性 | 土が硬い | 心土破砕 粗大有機物投入 |
| | カルチによる根痛み | カルチセッティングの 見直し |
| 化学性 | 基肥窒素濃過剰 | 根粒菌着床不良 |
| | | 倒伏 |
| | 高pH | 土壌診断値に基づく施肥 |
| | りん酸過剰 | |


試験圃の継続設置 (R3～R6)



定点調査



要因解析調査



次年度は実規模で地域へ普及!

- 小豆の低収要因と対策をまとめた **技術速関図**を基に各調査を実施。
- R3～R6年で調査した結果をまとめ、小豆の低収要因を解析。
- 安定生産に向けた 栽培技術提案をまとめ実規模で実証ほ場を設置。

4 活動の成果



堆肥も十分入ってるから、土壌養分は潤沢ですね！
施肥設計で減少できる養分は減らしましょう。



心土破碎はやってるよ。
カルチもきっちりかけてるよ。
土壌養分は潤沢なんだね。
土壌診断をみて、施肥設計してよ。

| 農家 | 土壌診断 | | 透排水性 | | 施工機械 | 栽植密度の推移 | カルチ施工回数 | 開花期前追肥判断 | 倒伏 | R3年対比 | | 総合評価 |
|----|------|----|------|----|------|---------|---------|----------|----|-------|----|------|
| | ※1 | ※2 | ※3 | ※4 | | | | | | ※5 | ※6 | |
| A | ○ | ○ | ○ | バラ | △→× | 4 | ○ | 有 | ○ | × | × | |
| B | ○ | ○ | ○ | サブ | △→△ | 0 | ○ | 有 | ○ | ○ | × | |
| C | ○ | ○ | ○ | パッ | △→△ | 4 | ○ | 有 | ○ | × | × | |
| D | ○ | ○ | ○ | サブ | △→○ | 3 | ○ | 無 | ○ | ○ | ○ | |
| E | ○ | ○ | ○ | 畦間 | ○→○ | 3 | ○ | 無 | ○ | ○ | ○ | |
| F | ○ | ○ | ○ | サブ | ○→△ | 3 | ○ | 有 | ○ | × | × | |
| G | ○ | ○ | ○ | サブ | △→○ | 3 | ○ | 有 | ○ | ○ | ○ | |
| H | ○ | ○ | ○ | サブ | ○→○ | 3 | ○ | 有 | ○ | ○ | ○ | |

※1 土壌分析 有○ 無× ※2 有機物施用 有○ 無× ※3 心土破碎施工 有○ 無×
 ※4 バラソイラバラ サブソイラサブ 畦間サブソイラ-畦間
 ※5 R4年からの栽植密度の変化 × ≤8,333株/10a~9,259株/10a○ ≤Δ
 ※6 開花期前追肥判断 有○ 無×
 ※7 R3年(活動開始年)より向上を○とする
 ※8 R3年(活動開始年)より収穫30%以上向上を○とする
 ※9 総合評価 ○:3点 △:2点 ×:0点 合計10点以上が○
 特筆は実践できた農家を示す

高収量栽培技術

- 透排水性の改善、カルチの施工
- 土壌診断に基づいた適正施肥

実践農業者

0戸→4戸

5 今後の対応

今後の活動

①土壌診断を基にした施肥による生産性の確保。

②倒伏軽減対策。

③ 雑草対策。

土壌分析は重要だ！
関係機関一丸となって進めていこう！
まずは、春にみんなで畑を見よう！



カルチを施工しても、雑草が気になるんだよ。
雑草って倒伏にも影響するの？